『農業』で深谷を元気に！

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。
問い合わせ/産業ブランド推進室(☎577 － 3819)
産業ブランド推進室 検索

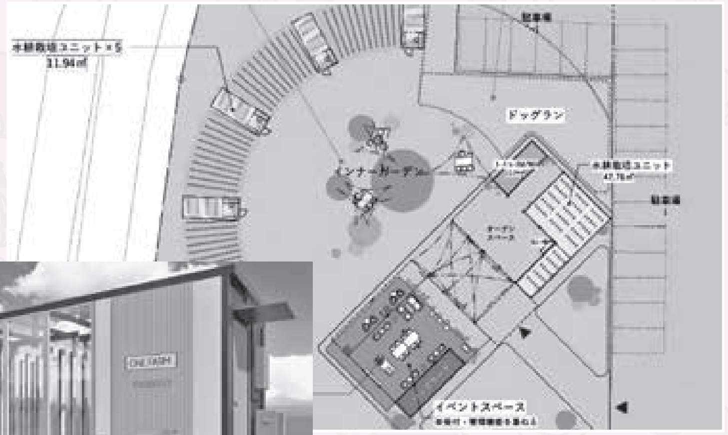
アグリテックビジネスコンテスト『DEEP VALLEY Agritech Award 2019』最優秀賞受賞企業が実証実験を市内で開始！

昨年度最優秀賞を受賞した企業による、アグリワーケーション施設運用の実証実験が始まります。

アグリワーケーションとは、『Agriculture（農業）』と『Work（労働）』と『Vacation（休暇）』を同時にかなえる造語で、リモートワークなどを行いながら、他の場所や空いた時間で農業を楽しむ新たな地方での働き方のことです。

今回の実証実験では、バジルなどの縦型水耕栽培施設とワークスペースを兼ね備えた施設を設置・運用します。

【アグリテックビジネスコンテスト プロダクト部門 最優秀賞受賞企業】
グリーンラボ株式会社（※）
内容：アグリワーケーション施設の運用
場所：旧豊里幼稚園跡地
開始時期：令和３年2月～
※ この事業は親会社であるグリーンリバーホールディングス株式会社が実施します。



▲配置イメージ

◀アグリワーケーション施設イメージ図

心の広場

明戸中学校２年(現３年)　髙橋　小春 さん

『障害』はその人の『個性』

私の母は障害がある子ども達が通う学童の先生をしています。毎日いろいろと大変そうですが、笑顔で、その日来た子ども達について話してくれます。私もたまに連れて行ってもらうのですが、障害を本当にもっているかと不思議に思うくらい、みんな笑顔で見ていて楽しそうだなと思いました。移動したり、自分で食事をとったりすることができない子が多いから、その子たちにとって不便だなと感じることも沢山あって、かわいそうだと思っていました。

私たち健常者から見たら、「あの人、不自由そうだな。」「かわいそうだな。」と思ってしまっているけれど、障害をもっている人たちからしたら、それがその人にとって普通のことであって、それがあたり前のことであるかもしれません。それなのに「かわいそう」と心配したりするのはあまり良くないことではないのかな、と私は思います。実際、そう思ってしまうのはしょうがないとは思うけれど、障害をもっている人たちのことも理解した上で自分の考えを改めることが大切なのかな、と思いました。

障害をもつ子ども達は、話すのも少し苦手で、身ぶり手ぶりで相手に自分の思っていることを伝えることも困難であるので、私たちにできることが少しでもあるのであるなら、力になりたいなと思いました。母と一緒にあるイベントに行ったとき、そこでは障害者の方たちが作ったお菓子や文房具が売り出されていました。中には洋服などもあり、ひとつひとつていねいにつくられていて、すごいなと思いました。接客や会計もその方たちがしていて、障害をもっている方でも健常者ができていることをあたり前のようにできるということを知ることができました。私は障害者の方たちがもっている「障害」はその人の『個性』だと思います。誰にだってコンプレックスや苦手なことはあるし、障害をもっていることは決して、悪いことではないと思います。

だから、障害をもっている方たちも安心して生活していけるような社会を目指して、これからも日々私たちも協力していきたいと思います。

キラリ熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

市内5商店街が栄一翁と深谷の魅力発信！

渋沢栄一翁ふるさと館OAK（オーク）ストアマネジャー（なんでも屋mog（モグ）店主）
松岡嘉奈（まつおかかな）さん

商店街から深谷を発信！

「ここに来れば、商店街各店のイチオシ商品がすべて手に入ります。５つの商店街がチームとして協力する強みを生かして地元の人はもちろん、市外から訪れる人に商店街や深谷の魅力を発信する場にしたいですね。」と熱い思いを語るのは、『渋沢栄一翁ふるさと館ＯＡＫ（オーク）』（以下オーク）ストアマネジャーの松岡さんです。

オークは、商店街連合会が運営するお店で、日ごとにオーナーが変わるシェアカフェと、商店街各店をはじめとした深谷の商品を販売する物産館により構成されています。

店名のオークは、日本語で『柏』を意味し、これには二つの思いが込められています。一つは渋沢家の家紋に含まれる柏、もう一つは、柏は新しい葉ができてから古い葉が落ちるため、代々つながっていく意味で縁起が良く、『多く（オーク）』の人に来てほしいという思いです。物産館には、栄一翁の紹介映像が流れ、栄一翁関連のグッズや各種パンフレットなども置かれており、訪れた人が地元商品だけでなく深谷の情報なども手に入れることができます。

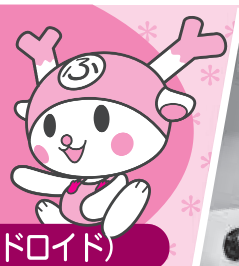
今後の目標について松岡さんに伺うと、「ここに人が集まり、オークの葉のように次々と交流が生まれて、商店街から深谷の街が盛り上がってくれるといいですね。」と笑顔で語ってくれました。商店街のチームとしての絆を強みに、松岡さんは今日も深谷の中心商店街から深谷の魅力を発信し続けます。

▶物産館では、栄一翁の紹介映像が流れ、栄一翁関連グッズなども販売されています。

看板は、商店街連合会を構成する5つの商店街を意味する5枚の葉のデザインです。

渋沢栄一翁ふるさと館ＯＡＫについて、詳しくはインスタグラム(HP)https://www.instagram.com/oak_fukaya/をご覧ください。※松岡さんは、自身のお店（なんでも屋ｍｏｇ）と渋沢栄一翁ふるさと館ＯＡＫのストアマネジャーを兼務しています。

ふっかちゃんの日常から深谷が見えてくる ふっか散歩



90 渋沢栄一記念館（渋沢栄一アンドロイド）

今日は、渋沢栄一記念館にやってきたよ～。ここでは、アンドロイドとして現代に甦った渋沢栄一翁に会ってお話を聞くことができるんだって～！早速、栄一翁に会いに行ってみよ～っと♪

※緊急事態宣言により2月10日(水)まで見学の新規予約受付を停止しています。見学予約についてはホームページで最新情報をご確認ください。

◀栄一翁の講義室入口にやってきたよぉ～。栄一翁に会うには事前にホームページから予約してね！入口に講義室心得が書いてあったよ～。ふっかちゃんも栄一翁に会う時間までこれをきちんと読んで待っていよ～っと。

▲栄一翁に会って、講義を受けたよ～。『道徳経済合一説』っていう内容のお話なんだって～。難しいお話だったけれど、栄一翁が身振り手振りを交えて優しく教えてくれたよ～。講義室で会える栄一翁は、70代の頃の姿を忠実に再現しているんだって。

ふっかちゃんのつ・ぶ・や・き
2月14日(日)から大河ドラマ『青天を衝け』の放送が始まるよぉ！大河ドラマ館は16日(火)にオープン！楽しみだねぇ♪Y(oOωOo)Y